

第60回

全国建設業 労働災害 防止大会 in 広島



2023年10月5日(木)・6日(金)

現地開催とオンライン配信を組み合わせた
ハイブリッド開催

大会スローガン

仲間を思いやる一声
みんなで実現しよう安全な職場



安全衛生保護具・
測定機器・安全標識等
展示会

同時開催
入場無料

1日目

10月5日(木) 10:30~17:00
広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)

2日目

10月6日(金) 8:30~15:30
広島国際会議場

総合集会 10月5日(木) 開場 10:30 開会 13:15
広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)

専門部会 10月6日(金) 開場 8:45 開会 9:00
広島国際会議場

Web展示・10月5日(木)~11月13日(月)

主催 建設業労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会広島県支部
開催主協力支部 建設業労働災害防止協会鳥取県支部、島根県支部、岡山県支部、山口県支部、徳島県支部、香川支部、愛媛支部、高知県支部
後援 厚生労働省、国土交通省、広島県、広島市、広島労働局
協賛 一般社団法人全国建設業協会、中央労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、
林業・木材製造業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会
協力 一般社団法人日本建設業連合会

NEW フラッグシップフルハーネス

ZERO HARNESS

装着ストレスZERO

- ▶ 屈伸時などにツッパリ感を感じさせない新構造の腰部可動金具を採用。
- ▶ ベルトの緩み止め機能を兼ね備えた長さ調節器とベルトの余長分を巻き取る固定具を新開発。
- ▶ HG・MG・SGの3グレード展開。
HG・MGには背当てパッドが標準装備。
HGには着脱式胸D環が付属。
- ▶ 腿ベルトV型と水平型の2タイプ。

フルハーネス・胴ベルト兼用型ランヤード

EZRITRA

- ▶ ランヤード長さが兼用型最長クラスの約1,650mmになっており、作業範囲を広く確保することが可能。
- ▶ 安全性を追求した設計の上、従来のショックアブソーバより軽量小型化。使用可能質量は130kgに対応。
- ▶ フルハーネスだけでなく、胴ベルト用としても使用できる兼用型ランヤード。

Safety is Love
TSUYORON



https://www.fujii-denko.co.jp
本社 〒679-0295 兵庫県加東市上滝野 1573-2

商品についてのお問い合わせは

TEL.0795-48-3851 (営業部)
9:00~17:00 / 月~金 (弊社指定休業日は除く)

▼ ホームページ ▼ YouTube



作業員に重機への接近を音声で警告して接触事故を防ぐ

セフティアラート NEW



398-05
サイズ: W200×D82×H120mm
材質: ABS樹脂

- 人感センサーで重機への接近を大音量の音声などでお知らせ (最大 90db 以上)
- 音声は 2 種類を録音・再生できます。
- 乾電池で駆動するので面倒な配線は不要です。
- 背面の強力マグネットですぐに取り付けられます。
- JIS 保護等級の IP55 相当に準拠した防水・防じん性能を有しています。(当社社内試験による測定)



作業員の接近をセンサーで感知して音声で警告

カタログのご請求・最寄りの代理店については、下記フリーダイヤルにてお問い合わせ下さい。

安全と快適環境をトータルでコーディネートする

UNIT ユニット株式会社

● 営業部 / 〒173-0004 東京都板橋区板橋2-3-20
TEL ☎0120-490336 FAX ☎0120-490173
E-mail でも承ります。sien@unit-signs.co.jp

● 営業所 / 第2-城北-城南-城東-札幌-盛岡-仙台-郡山-北陸-群馬-茨城-埼玉-千葉-西東京-横浜-平塚-静岡-京都-大阪北-大阪南-神戸-広島-福岡

女性にもやさしい ゴグル

NEW ゴグル RC-01 シリーズ

曇りに強い





株式会社 理研オプテック

https://rikenoptech.com



1. 小型 2. 軽量 3. 高機能センサ

備えて安全、 身に着けて安心。

Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、理研計器株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 対応機種もラインアップ

お気軽にお問い合わせください!



連続使用時間 最長 9,000 時間!
Model : 04 Series

NEW

3年保証センサ & 30時間もつバッテリーを搭載

わずか 45g のウェアラブルガス検知器
Model : GW-3 Series

Bluetooth 対応! 5 成分を同時検知!
Model : GX-3R Pro

吸引型 4 成分ガス検知器
Model : GX-Force

理研計器株式会社

https://www.rikenkeiki.co.jp/ 本社 〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6 TEL 0570-001939 (代)

第60回全国建設業労働災害防止大会（広島大会）のご案内

本年度の全国建設業労働災害防止大会は、10月5日（木）に「広島県立総合体育館」において、建設業における安全衛生活動に顕著な功労・功績のあった方々や優秀な安全衛生成績をあげられた事業場等に対する表彰、労働災害防止のために優秀な発明・考案等をされた方を対象とした顕彰、安全の誓いの採択、講演等を行う「総合集会」を開催します。

10月6日（金）には「広島国際会議場」において、会員建設企業等による安全衛生等に関する研究発表を行うとともに行政担当官より労働災害防止対策、通達、方針等の情報を提供する建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、ICT部会、コスモス部会、メンタルヘルス部会の7つの「専門部会」を開催します。

また、本大会と併せて、最新の安全衛生保護具・測定機器・安全標識等を多数とりそろえた安全衛生保護具等展示会を両日、開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時・開催会場

プログラム	開催日時	会場
総合集会	10/5（木）13:15～	広島県立総合体育館 大アリーナ
建築部会	10/6（金）9:00～	広島国際会議場 ヒマワリ
土木部会	10/6（金）9:00～	広島国際会議場 ダリア①
安全衛生教育部会	10/6（金）9:00～	広島国際会議場 フェニックスホール
低層住宅部会	10/6（金）9:00～	広島国際会議場 ダリア②
ICT部会	10/6（金）9:00～	広島国際会議場 コスモス
コスモス部会／メンタルヘルス部会	10/6（金）9:00～	広島国際会議場 ラン
安全衛生保護具等展示会	10/5（木）10:30～	広島県立総合体育館 小アリーナ
	10/6（金）8:30～	広島国際会議場 B2Fロビー・サクラ

オンライン視聴

今までは見る事ができなかった同じ時間帯の研究発表を何時でも何度でもご覧いただけます。

プログラム	オンデマンド配信
総合集会	10/10（火）～11/13（月）
専門部会	
安全衛生保護具等Web展示会	10/5（木）～11/13（月）

- オンラインプログラムを視聴するためには、「ユーザー名」、「パスワード」が必要です。
- 現地にご参加の方は、全国大会当日お渡しする資料にて「ユーザー名」、「パスワード」をご案内しますので、オンライン参加の申し込みは不要です。
- オンラインのみのご参加の方は、お手数ですが、参加券ご購入後、建災防本部ホームページより手続きをお願いします。
- 総合集会の毛利氏の講演などオンライン視聴できないプログラムがあります。
- 専門部会に参加された方は、継続学習制度（CPDS）のユニットを取得できますが、オンライン参加ではCPDSのユニットは付与されません。

会場のご案内

初日

①広島県立総合体育館 原爆ドーム前駅より徒歩約10分
広島市中区基町4-1

●総合集会 ●安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会

2日目

②広島国際会議場
原爆ドーム前駅より徒歩約10分
広島市中区中島町1-5

●専門部会 建築部会・土木部会・安全衛生教育部会・
低層住宅部会・ICT部会・コスモス部会・
メンタルヘルス部会

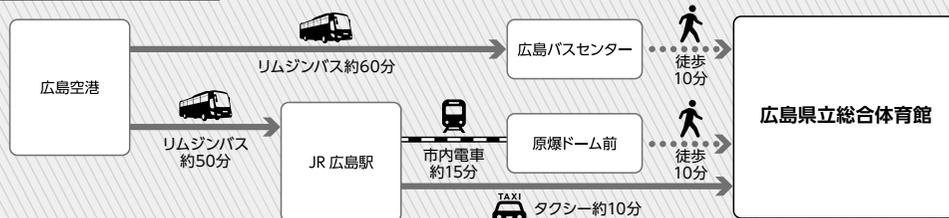
③広島市文化交流会館
広島国際会議場より徒歩約7分
広島市中区加古町3-3

●コスモスレベルアップミーティング
(認定企業)

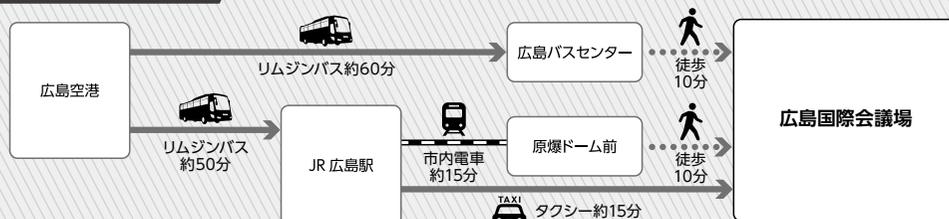


※会場内に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

広島県立総合体育館



広島国際会議場



総合集会プログラム

オンデマンド配信
一部配信なし

初日 10月5日(木) 広島県立総合体育館(大アリーナ)

10:30	開 場
12:15	広島県・広島市観光映像
13:15	開 会
	黙 祷
	挨拶 建設業労働災害防止協会 会長
	来賓挨拶 厚生労働大臣 国土交通大臣 広島県知事 広島市長
	歓迎のこたば 大会実行委員長 建設業労働災害防止協会 広島支部長
13:50	安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰
14:10	安全の誓い 大会副実行委員長
14:15	講 演 「労働安全衛生行政の動向について」(仮題) 厚生労働省 労働基準局
14:35	アトラクション 広島伝統芸能 神楽 「八岐大蛇」 琴庄神楽団
15:00	休 憩
15:20	講 演 「宇宙からの贈りもの」 宇宙飛行士 日本科学未来館名誉館長 毛利 衛
16:30	閉 会

※プログラムは一部変更になる場合があります。

安全衛生関係情報提供のご案内

皆様へご紹介したい資料・リーフレット等を無料で配布するコーナーを会場内に設けますので、ぜひ情報収集にお役立てください。

参加者の皆様へ

○受付について

当日の受付(両日)については「現地での受付方法のご案内(19頁)」をご確認ください。

初日に受付を済まされた方も2日目の専門部会にご参加される際には必ず受付をお済ませのうえ、ご入場ください。

初日 広島県立総合体育館 B1F エントランスホール(10時30分～)

2日目 広島国際会議場 B1F 会議運営事務室ロビー(8時30分～)

○CPDS(継続学習制度)について

(一社)全国土木施工管理技士会連合会のCPDS(継続学習制度)のユニットが、本大会の専門部会(2日目)を聴講することにより、最大4ユニット取得できます。専門部会会場で「受講証明書」を配布いたします。ユニットの申請は、各自で(一社)全国土木施工管理技士会連合会へ申請してください。

(一社)全国土木施工管理技士会連合会ホームページ：<https://www.ejcm.or.jp>

○参加者への特典

現地にご参加の方は、当日お渡しする参加証を提示することで、「広島平和記念資料館」に無料で入館できます。

○昼食について

初日、2日目ともに会場内での飲食は可能で、会場内にてお弁当販売を行います。※2日目は一部会場では飲食不可になります。

講演者紹介



「宇宙からの贈りもの」

宇宙飛行士 日本科学未来館名誉館長 もうり まもる 毛利 衛 氏

1948年北海道余市町生まれ。理学博士。

85年北海道大学助教授から日本初の宇宙飛行士に選ばれる。92年科学者宇宙飛行士として宇宙船「スペースシャトル」にて無重力実験遂行。2000年NASA宇宙飛行士として三次元地図作成ミッションおよびハイビジョン映像による地球観測遂行。03年潜水艇「しんかい6500」にて深海実験遂行。同年南極世界初皆既日食観測参加。07年南極昭和基地開設50周年記念事業参加。

現在、日本科学未来館名誉館長、全国科学館連携協会会長、日本水大賞委員会委員長としても活躍。総理大臣顕彰、日本放送文化賞、NASA 名誉勲章など多数受章あり。

アトラクション紹介

広島伝統芸能 「八岐大蛇」 きんしょうかぐらだん 琴庄神楽団

琴庄神楽団プロフィール

広島県北部・北広島町の豊平地域に籍を置き、琴谷天日（ことだにてんにち）神社と庄原八幡神社を守護神として崇拝し、活動する神楽団です。

高官町の神楽団より習い受けた従来の神楽を伝承するとともに、現在では、舞台芸能としての神楽にも取り組んでおり、平成17年には後に世界遺産となった奥州平泉を、また、平成22年には広島県の世界遺産「宮島」を題材とする創作神楽「巖島」をつくり発表しました。

いつまでも初心を忘れることなく、挑戦する気持ちも持って皆様の声援を何よりの励みとし、精進をしまいたいと思います。

八岐大蛇あらすじ

出雲の国に暮らす足名椎（あしなづち）・手名椎（てなづち）老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人の娘を失いました。そしていよいよ八人目の姫が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の姫・奇稲田姫（くしいなだひめ）は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原（たかまがはら）から舞い降りた須佐乃男命（すさのおのみこと）が通りかかり、その訳を聞きます。

命は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折（やしおり）の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた命は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣（あまのむらくものつるぎ）と名づけ、天照大神（あまてらすおおみかみ）に捧げます。そしてめでたく奇稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。



(写真提供：株式会社RCC文化センター)

専門部会プログラム

オンデマンド配信
10/10～11/13

2日目 10月6日(金) 広島国際会議場・広島市文化交流会館

	建設部会 広島国際会議場(ヒマワリ)	土木部会 広島国際会議場(ダリア①)	安全衛生教育部会 広島国際会議場(フェニックスホール)	低層住宅部会 広島国際会議場(ダリア②)	ICT部会 広島国際会議場(コスモス)	コスモス部会 広島国際会議場(ラン)
8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45
9:00	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)
9:10	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	講話 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)
9:15	鹿島建設株式会社	三井住友建設株式会社	厚生労働省 化学物質対策課	㈱ブラネックス	㈱竹中工務店	㈱ホーク
9:20	市街地におけるオフィスビル解体	シールド現場の安全管理と	職場における新たな	地方工務店で働く	クラウドカメラの活用で、死角を無くし、	従業員33名の会社が取り組む
9:25	工事で飛散ゼロに向けて	働きやすい環境作りの取組み	化学物質規制	作業者の安全意識向上対策	管理密度を充実する安全活動	安全マネジメントシステム事例
9:30	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)
9:35	(一社)Hi-jetアスベスト処理協会	飛鳥建設株式会社	戸田建設株式会社	大和ハウス工業株式会社	清水建設株式会社	西松建設株式会社
9:40	煙突アスベストの実態	モノレール橋脚直下の	安全パトロール票の	新ヒヤリハット報告を活用した	DX/ICTの活用による	コスモス認定による
9:45		トンネル工事における安全対策	電子化	安全管理活動	施工の安全性の向上	進化と課題
9:50	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)
9:55	㈱竹中工務店 神戸支店	㈱大林組 札幌支店	鉄建建設株式会社	清水建設株式会社	安田産業株式会社	㈱愛電
10:00	大規模、広範囲かつ、複数棟の解体工事に	レール方式を採用した小断面山岳	災害防止協力会の安全活動	中層木造ハイブリット構造に	建設業DXへの挑戦	最適な安全衛生システムを
10:05	おける無事故無災害の達成に向けた取組	トンネル工事の安全に関する取組み		おける安全衛生管理		目指して
10:10	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)
10:15	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)
10:20	㈱奥村組 東日本支社	㈱森組	清水建設株式会社	低住協 じゅうたく小町部会	旭テック株式会社	小柳建設株式会社
10:30	高速道路に近接する	大規模崩落斜面直下での	移動型安全道場「選別号」による	住宅系現場監督の働き方と	グループウェアを活用した	コスモス導入による
10:35	建物における安全対策	掘削工事における安全対策	現場作業員への直接教育	キャリアセクター実施の効果について	COHMSへの取り組み	店社安全衛生管理水準の向上
10:40	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)
10:45	大成建設株式会社	大成建設株式会社	大成建設株式会社	旭化成ホームズ株式会社	㈱大林組 四国支店	広成建設株式会社
10:50	劇場建築の吹抜け空間における	アンカー式練石橋脚における	安全衛生管理における	「吊钩の下」に入らない	ICT活用による作業効率化・	鉄道安全マネジメントシステムと
10:55	危険な高所作業を減らす施工計画	施工の省力化・安全対策について	看護師の取組みについて	(TSH)活動」の取り組み	安全管理能力向上への挑戦	一体化させたコスモス導入
11:00	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)
11:05	㈱熊谷組 東北支店	前田建設工業株式会社	鹿島建設株式会社	積水ハウス株式会社	五洋建設株式会社	北野建設株式会社
11:10	「みらいのげんば」における	TBM掘削工事における	どうしたら止めれる?	労災管理システム	現場安全業務に関する	キタノコスモス
11:15	安全衛生管理の取組み	安全対策の取り組みについて	連続する労働災害からの脱却		ICTの取組	コスモス認定
11:20	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	開会挨拶 11:20～11:25(5分)
11:25	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	講話 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	コスモスレベルアップミーティング
11:30	㈱大林組 名古屋支店	三井住友建設株式会社	オリエンタル白石株式会社	厚生労働省 広島労働局	鹿島建設株式会社	広島市文化交流会館(銀河)
11:35	特別高圧線近接作業に	供用中の道路における	ニューマチックケーソン工事施	広島県の建設業における	リニューアブル工務店におけるICTツール等	(認定企業)
11:40	おける安全管理	トンネル掘削工場の安全管理	工における追加的安全対策	労働災害の現状	を駆使した施工計画と安全管理	12:30～15:00
11:45	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	①行政の最近の動向について
11:50	㈱フジタ 広島支店	清水建設株式会社	石黒建設株式会社	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	戸田建設株式会社	②コスモス運用上の事例について
11:55	高層ビルの外壁改修工事に	今までにとらわれない	『とめた!』災害連鎖の波	山梨県木造家屋等建築工事安全対策協議会	関東支店	グループ討議
12:00	おける作業用足場の改善	革新・挑戦的な安全管理		パトロールを安全教育の場	BIMを活用した	③質疑応答・意見交換
12:10				とする真心の活動	『デジタル安全パトロール』の広域化	
12:20	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	メンタルヘルス部会
12:30	DVD上映	DVD上映	DVD上映	DVD上映	DVD上映	広島国際会議場(ラン)
12:40						開会挨拶 12:50～13:00(10分)
12:50						発表⑨ 13:00～13:20(20分)
12:55	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)
13:00	東急建設株式会社	㈱大林組 九州支店	三井住友建設株式会社	㈱ダイサン	㈱奥村組 東日本支社	新ヒヤリハット報告推進協議会
13:05	喜多見9丁目計画の	深さ30mの立坑と狭い坑内空間	山岳トンネルでの	安全な作業環境を	ICTを活用した次世代の	新ヒヤリハット報告を活用した
13:10	現場管理	におけるシールド安全管理	安全管理も基本は同じ	常に維持するために	安全管理手法	新たな安全衛生のDX化について
13:15	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)
13:20	清水建設株式会社	大成建設株式会社	五洋建設株式会社	大阪住宅安全衛生協議会	鹿島建設株式会社	東急ジオックス株式会社
13:25	スタジアム居ながら改修工事に	耐震補強工事における	既存のシステム、ソフトを	法改正の壁を見据えた	働き方改革を見据えた	「防災防方式 新ヒヤリハット報告」
13:30	おいてイベント影響ゼロを目指して	水平力負担構造設置の安全対策	有効活用した安全管理	(安全帯)の現状	スマート生産現場への挑戦	DX化、無料提供による普及促進の取組
13:35	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)
13:40	戸田建設株式会社	清水建設株式会社	大和ハウス工業株式会社	日本安全帯研究会	㈱大林組 四国支店	建防災 山梨県支部
13:45	病院リニューアル工事に	切盛土工事における災害防止	協調安全を用い高所作業車	フルハーネス墜落制止器具の	土運搬における安全対策	新ヒヤリハット報告がもたら
13:50	おける安全性向上	に向けた工法選定の取組み	使用者のウェルビーイング向上	普及の取組みについて		すレジリエンス能力の効果
14:00	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)
14:05	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)
14:10	㈱竹中工務店 神戸支店	戸田建設株式会社	㈱熊谷組 首都圏支店	低住協 環境安全対策部会	清水建設株式会社	矢作建設工業株式会社
14:15	居ながらの病院改修工事における、病院への影響を	大深度地下空間での	女子中高生と職員会で	DX化の普及による	広大敷地におけるICT技術-デジタル技術	新-YAHAGI式
14:20	最小限に抑えたい安全に対する取組みについて	安全な作業環境の構築	取組むこと	低層住宅の現場環境について	を活用した安全管理の取組	新・ヒヤリハット活用術
14:25	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)
14:30	鹿島建設株式会社	飛鳥建設株式会社	清水建設株式会社	大和ハウス工業株式会社	大成建設株式会社	㈱松本組
14:35	高層下でのクレーン作業時の安全管理手法	建設DXがもたらす	安全意識向上と	低層現場における	デジタルツールを利用した	下請け「主動」の
14:40	と次世代制鋼システム開発への取組み	新たな安全運営	コミュニケーションによる災害防止	遠隔現場の安全管理	作業所の安全衛生管理活動	安全衛生管理体制の構築に向けて
14:45	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)
14:50	清水建設株式会社	鹿島建設株式会社	㈱竹中工務店 広島支店	建防災 技術管理部	戸田建設株式会社	東洋建設株式会社
14:55	重篤災害撲滅に向けて	日下川新規放水路(呑口側)	ダイバーシティ・働き方改革を	「安全(衛生)管理士」による	創意・工夫・改善による	建設現場における
15:00		工事の安全衛生管理活動	意識したやさしい作業所への取組み	支援をご活用ください	安全衛生管理	労働災害防止に向けて
15:05	閉会挨拶 15:10～15:15(5分)	閉会挨拶 15:10～15:15(5分)	閉会挨拶 15:10～15:15(5分)	閉会挨拶 15:10～15:15(5分)	閉会挨拶 15:10～15:15(5分)	閉会挨拶 15:10～15:15(5分)
15:10	休憩 15:15～15:25(10分)	休憩 15:15～15:25(10分)	休憩 15:15～15:25(10分)	休憩 15:15～15:25(10分)	休憩 15:15～15:25(10分)	休憩 15:15～15:25(10分)
15:15						
15:20						
15:25						
16:25						
		国土交通省 専門工事業・建設関連業振興室				「建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望」
		厚生労働省 建設安全対策室				「労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取組み」

研究発表 講話

※プログラムは変更になることもあります。

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 清水建設(株) 安全環境本部 安全部長 神田 道宏
9:10～9:30 (20分)	発表 ①	<p>市街地におけるオフィスビル解体工事での飛散ゼロに向けて —ケージシステム採用による上部全面飛散防止養生の取組事例—</p> <p>鹿島建設(株) 中国支店 明治安田生命広島ビル解体工事事務所 所長 井上 猛則</p> <p>市街地の既存高層建築物解体に上部全面飛散防止養生システムを採用することで、解体作業時に発生する飛散物を確実に抑え込むと同時に、水平ネットの盛替えと解体作業を並行して行うことにより、従来工法では総日数77日かかる工程を22日間短縮するなど、大幅な工期短縮も実現した。</p>
9:30～9:50 (20分)	発表 ②	<p>煙突アスベストの実態 —今、煙突にアスベストがあることは忘れられ、更に不適切な処理工法等が進行中である。—</p> <p>(一社)Hi-jetアスベスト処理協会 会長 藤林 秀樹</p> <p>煙突の中のアスベスト断熱材が著しく劣化し、周辺に飛散しているにもかかわらず放置されている。又「除去処理」ではなく「封じ込め処理」で対応しているケースも出てきているため、これら問題点を再考したい。</p>
9:50～10:10 (20分)	発表 ③	<p>大規模、広範囲かつ、複数棟の解体工事における無事故無災害の達成に向けた取組 —事前リスク分析評価に基づく対策立案および管理活動—</p> <p>(株)竹中工務店 神戸支店 作業所所長 黒河 勝之</p> <p>当工事は、再開発事業の一環として、既存の水族園の大部分(11/12棟)の解体と、事業エリア内の既存宿泊施設の解体工事を担うものである。約10haの広大な事業エリアの内、東西の離れた2つのエリア(計約3.1ha)において、複数棟の解体工事を行っている。部分引渡し後の新築工事も着手等もあり、安全・工程管理ともに厳しい条件の解体工事ではあったが、様々な取り組みを実践し、全工期無事故・無災害を達成した。その内容について報告する。</p>
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発表 ④	<p>高速道路に近接する建物における安全対策 —BIMによる鉄骨建方計画—</p> <p>(株)奥村組 東日本支社 三軒茶屋工事所 工事所長 正木 亮次</p> <p>本建物は、駅に近く、国道、首都高速道路に面し、敷地いっぱいに計画された事務所ビルである。鉄骨建方では、首都高速道路の近接工事協議の規則を遵守する必要があり、BIMによる、作業員への施工ポイントや安全対策のイメージを具体的に情報共有する事で安全に配慮した施工を行った。</p>
10:40～11:00 (20分)	発表 ⑤	<p>劇場建築の吹抜け空間における危険な高所作業を減らす施工計画 —舞台上部スノコ鉄骨のユニット化と吹抜け部コンクリート打放し壁のPCF化—</p> <p>大成建設(株) 中部支店 建築部 作業所長 村橋 亮</p> <p>本施設は磐田市の旧文化会館の老朽化に伴い、新たに移転新築工事として計画された建物である。旧文化会館の機能を引き継ぐとともに新しい磐田市の文化拠点とし、様々な市民活動や市民の憩いの場となることを求められた建物である。主用途が劇場である為、階高が高く、吹き抜け部分の多い空間となっている。そこで、墜落・転落災害の防止の観点から、高所作業を減らす目的で、スノコ鉄骨のユニット化並びに吹抜け部の本実杉板型枠打ち放しの斜め壁のPCF化を行った。</p>
11:00～11:20 (20分)	発表 ⑥	<p>“みらいのげんば”における安全衛生管理の取り組み —こころひとつに取り組む「STH Challenge48! (チャレンジフォーティーエイト) —</p> <p>(株)熊谷組 東北支店 建築部 部長 青柳 謙太郎</p> <p>建設業全体が直面している様々な課題を解決し“みらいのげんば”を実現するため、「STH(Sendai Tokushukai Hospital)Challenge48!」として3テーマ48項目のチャレンジに取り組んだ。今回はそのうち“みらいのげんば”における安全衛生管理の取り組みについて述べる。</p>
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発表 ⑦	<p>特別高圧線近接作業における安全管理 —感電災害及び停電事故の防止—</p> <p>(株)大林組 名古屋支店 半田健康管理センター工事事務所 主任 河路 峻也</p> <p>計画地上空を77,000vの特別高圧線が縦断しており、感電災害及び停電事故を発生させず新棟建屋を計画通りに完成させるかという課題に取り組んだ。人は不安全行動等のミスを犯すということを前提に、ハード面では各種制限・ルールの設定。ソフト面では繰り返し指導・教育を実施し、ソフト・ハードの両面で二重・三重の安全対策を講じ、実施した。</p>

11:50～12:10 発表⑧ **高層ビルの外壁改修工事における作業用足場の改善**
—高所作業における災害リスク低減に向けた取組み—
(20分) (株)フジタ 広島支店 BLC推進部 次長 鹿角 英児

築40年以上経過した高層ビル(地上80m)の外壁改修工事において、従来のように全面足場を組み立てればその全ての作業が高所作業となる。資材の荷揚げ・荷下ろしの落下リスクを含め、非常に慎重な作業を要する。そこで、高所作業をできるだけ削減し、安全性を確保するため、当社の保有技術である昇降システムFCF工法を採用し、墜落・転落災害の危険の芽を摘むことにより、安全作業環境に貢献できた。今回は、その計画から施工について、報告します。

12:10～13:00 昼 休 DVD上映

13:00～13:20 発表⑨ **喜多見9丁目計画の現場管理**
—社員朝礼の実施が現場の好循環につながる!—
(20分) 東急建設(株) 首都圏建築支店 第二建築部 松本 克己

当工事は着工当初から工期が非常に厳しく施工主、設計事務所を含めてプロジェクト全体として実務工事と認識されていました。建物は敷地一杯に低層住宅4棟で構成されており、地下躯体を含めてエキスパンションで接続する複雑な構造となっております。近隣は、事業計画が公表された時点から建設反対運動が行われており、現場付近は、簡素な住宅街のため周辺道路の交通規制が、様々な制約条件下での工事となりました。低層住宅4棟が同時施工のため、同工種で複数の協力会社の体制を敷きました。安全・環境・品質の共通認識を持たせて工事を進めることを重点に、管理を行いました。

13:20～13:40 発表⑩ **スタジアム居ながら改修工事においてイベント影響ゼロを目指して**
—デジタル・ICTツールを駆使した現場管理手法への挑戦—
(20分) 清水建設(株) 名古屋支店 三河営業所 工事長 橋本 敏志

竣工後20年を迎えた豊田スタジアムで開閉式屋根の固定化、塗装修繕等を行う。居ながら改修工事において、「イベント影響ゼロ」、「第三者災害ゼロ」を目標に、採用した仮設計画、デジタル・ICTツールを取り入れた安全管理手法などを紹介する。

13:40～14:00 発表⑪ **病院リニューアル工事における安全性向上**
—敷地高低差17mと稼働病院における工事の省力化・工業化による安全性の向上—
(20分) 戸田建設(株) 横浜支店 建築工事部 作業所長 竹岡 元宏

本工事は、敷地中央の新病院棟を建設する工事車両が「外来・バスロータリー」等と共有する課題があった。今回は、建物解体と新棟建設の同時施工や、構台・搬入動線の切り替えおよび敷地高低差17mの擁壁躯体にシステム型枠を採用した。また、はね出し床および柱Pca化による工事車両削減と安全性の向上について報告する。

14:00～14:10 休 憩

14:10～14:30 発表⑫ **居ながらの病院建替工事における、病院への影響を最小限に抑えた施工と安全に対する取組みについて**
—建築主のニーズを具現化し、施工計画の充実を図る—
(20分) (株)竹中工務店 神戸支店 建築技術管理グループ 伊藤 克昌

居ながらの病院の解体・新築・改修工事(延工期65か月)にて、病院を利用される方々が安心して医療が受けられるように配慮した工事の方法と、期中の作業所の安全に対する取組みについて報告する。

14:30～14:50 発表⑬ **高圧線下でのクレーン作業時の安全管理手法と次世代制御システム開発への取組み**
—クレーン監視システムから制御システムへの展開—
(20分) 鹿島建設(株) 中部支店 サンクチュアリコート高山工事事務所 工事課長代理 高田 竜太

本工事は、岐阜県高山市の丘の上に位置する会員制ホテルである。上空15.4万ボルトを送電する高圧線があり、この高圧線に対するクレーン作業時の安全担保が重要管理ポイントであった。本発表では、クレーントラブルゼロへ向けて当現場で実証した管理手法の工夫とクレーン監視+制御システムの取組内容を発表する。

14:50～15:10 発表⑭ **重篤災害撲滅に向けて —危険作業を根本から見直す—**
(20分) 清水建設(株) 広島支店 徳山営業所 工事長 重田 宏幸

重篤災害撲滅のため、重大災害に繋がる揚重作業と火気作業についての作業の見直しを行った。揚重作業については、吊らなければ落ちない取組を行った。火気作業については、できる限りの火無し工法の選択と周辺温度上昇や残火確認の見える化を行った。

15:10～15:15 閉会挨拶 副部会長 (株)竹中工務店 広島支店 生産統括部 部長付 鈴木 悟

15:15～15:25 休 憩

15:25～16:25 講 話* **建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望**
国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室 企画専門官 木下 誠一
労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取組み
厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史

※15時25分からの講話は安全衛生教育部会会場(フェニックスホール)で行います。

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 鹿島建設(株) 特別参与 本多 敦郎
9:10～9:30 (20分)	発表 ①	<p>シールド現場の安全管理と働きやすい環境作りの取組み —「安全の見える化」と「作業の少人化」による現場管理の推進—</p> <p>三井住友建設(株) 広島支店 土木部 工事主任 藤永 諭</p> <p>シールド工事の現場に於いて、発進基地は作業の起点と中枢を担う重要な場所である。市街地に立地し近隣に配慮しながら、安全で、働きやすく、作業員の負担を軽減する現場環境作りを念頭に、「見える化」を意識したリスクアセスメント、「少人化」を可能とした現場管理の取組みを紹介する。</p>
9:30～9:50 (20分)	発表 ②	<p>モノレール橋脚直下のトンネル工事における安全対策 —モノレール橋脚の安全確保と現場ヤード内の安全対策に関する取組み</p> <p>飛鳥建設(株) 九州支店 飛鳥・太名嘉・丸尾JV赤嶺トンネル北作業所 工事課長 兼松 亮</p> <p>本工事は上下線2本の道路トンネル(2車線)を建設する工事で、現場は沖縄県那覇空港から200m程度離れた場所に位置する。トンネルはモノレールの直下10mを掘削するルートのため、掘削中のモノレール運行への安全確保が課題となったことから、安全対策としてモノレール橋脚や坑内の自動変位監視と警報システムを導入した。また、見通しが悪く、死角が点在する工事用道路において工事車両や工事関係者の安全通行を確保することが課題となったことから、安全対策として車両接近センサーや危険箇所の現場統一ルールを設定した。</p>
9:50～10:10 (20分)	発表 ③	<p>レール方式を採用した小断面山岳トンネル工事の安全に関する取組み</p> <p>(株)大林組 札幌支店 工事長 岡崎 雄一</p> <p>本工事はレール方式を採用した、掘削断面積20㎡の小断面山岳トンネル工事であり、以下の安全対策を実施した。掘削作業では、①TWSによる支保工建込作業の効率化。重機との接触防止対策として、②切羽立入禁止措置の明確化、③セーフティコールによる重機オペレーターとの連絡合図の確立、④視認性の良いトラチヨッキの採用。パッチャーブランドでは骨材荷揚げ作業の自動化。これらの対策により、安全に工事を進められている。</p>
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発表 ④	<p>大規模崩落斜面直下での堰堤工事における安全対策 —自然災害復旧・復興工事において「安全の見える化」を実践—</p> <p>(株)森組 土木事業本部 施工部 乙石川上流砂防堰堤工事 所長 住田 知己</p> <p>土石流発生の危険や大規模崩落斜面直下という厳しい施工条件での堰堤工事であり、災害リスク低減に対する様々な取組みを実施した。また、「安全の見える化」に重点を置いた取り組みなど、全員が安全最優先の意識により工事を進めた結果、無事故無災害で工事を完成した。</p>
10:40～11:00 (20分)	発表 ⑤	<p>アンカー式練石積作業における施工の省力化・安全対策について —作業員の負担軽減と危険性の低減—</p> <p>大協建設(株) 工事部 工事係長 宮下 篤史</p> <p>従来石材のみを積み上げる練石積と違い、石材と背面アンカー材が一体化したものを積み上げる構造でありバックホウにより吊り込んで積み上げる作業となる。過去の施工では鋼製ワイヤーによる玉掛により吊り込む方法で作業していたが、専用の吊り金具を考案し活用した。これにより作業性の向上と省力化。作業員の負担軽減と危険性の低減を向上させることができた。</p>
11:00～11:20 (20分)	発表 ⑥	<p>TBM掘削工事における安全対策の取組みについて</p> <p>前田建設工業(株) 中国支店 広島TBM作業所 作業所長 田邊 茂</p> <p>本工事は安芸郡海田町東海田の海田総合公園内の既設海田導水トンネルから、呉市二河峽町への水道用水の導水を目的とする事業の内、深さ約63.2mの立坑及び新設導水トンネル等を施工する延長L=4,791.5mの工事です。事業の内、深さ約63.2mの立坑及び新設導水トンネル等を施工する延長L=4,791.5mの工事です。また、施工方法は、立坑を掘削した後に、TBM掘削機(トンネルボーリングマシン)と呼ばれる機械で硬い岩盤水平方向に円形のトンネル掘削であったので、工事を安全かつ円滑に進めるためには、施工方法および安全対策を検討することが重要でした。そこで、工事において採用した施工事例や安全衛生管理の取組みについて詳細を説明します。</p>
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発表 ⑦	<p>供用中の道路におけるトンネル覆工補強工事の安全管理 —交通規制帯作業の安全確保と公衆災害防止対策—</p> <p>三井住友建設(株) 東京土木支店 風祭作業所 作業副所長 永井 宏朗</p> <p>交通規制を伴うトンネル覆工補強工事において、最新技術の活用と創意工夫による労働災害の防止、交通状況に応じた規制機材の改善による第三者車両の安全通行確保、点在了した施工箇所に対する安全管理の実施報告です。</p>

11:50～12:10 (20分)	発表 ⑧	<p>今までにとらわれない革新・挑戦的な安全管理 —中央自動車道新小仏トンネル工事における多種のリスクに対する取組事例— 清水建設㈱ 土木東京支店 横浜土木営業所 中央自動車道新小仏トンネル工事業務所 工事長 菊池 順</p> <p>中央自動車道新小仏トンネル工事はトンネル工のほか、交通量の多い中央道に交通規制を行いながら供用線近接工事を行っている。本論文では切羽災害のみならず第三者災害・公衆災害といった重大災害に対する安全管理の取り組み事例を紹介する。</p>
12:10～13:00	休 息	DVD上映
13:00～13:20 (20分)	発表 ⑨	<p>深さ30mの立坑と狭い坑内空間におけるシールド安全管理 —吊荷災害と接触災害の防止に向けた設備の工夫および「見える化」— (株)大林組 九州支店 中部9号幹線JV工事事務所 現場代理人 山本 裕三</p> <p>本工事の立坑は深さが約30mあり、荷揚げ・荷下ろし時における作業の高低差が大きく、また立坑および坑内では限られた空間での作業となるため、安全確保が重要となる。本稿では、災害防止に向けた設備の工夫と「見える化」の徹底などについて報告する。</p>
13:20～13:40 (20分)	発表 ⑩	<p>耐震補強工事における水平力分担構造設置の安全対策 —テレハンドラーと専用架台開発による作業性・安全性の向上— 大成建設㈱ 横浜支店 新湘南バイパス赤羽根高架橋コンクリート橋耐震補強工事業務所 作業所長 古谷 智之</p> <p>本工事は高速道路の機能性・安全性の更なる向上を目的とした高速道路の耐震補強工事において、地震時に支承にかかる水平力を分散させ、橋の安全を守る水平力分担構造を設置する工事である。水平力分担構造を設置するには、既設構造物に機械式アンカーを打設し、チェーンブロック等を用いて吊り上げながら設置するのが一般的であるが、挟まれ災害、墜落災害、アンカーが抜け落ちる事による重量物の落下による災害の発生リスクが非常に高い。そこで、それらの災害発生リスクを低減し、作業性・安全性の向上させる水平力分担構造設置の新技術開発を行った。本論文は、その新技術開発による作業性・安全性の向上について記述するものである。</p>
13:40～14:00 (20分)	発表 ⑪	<p>切盛土工事における災害防止に向けた工法選定の取組み —自然災害を未然に防ぐための工夫— 清水建設㈱ 広島支店 土木部 工事主任 河岡 忍</p> <p>近年、各地でゲリラ豪雨による土砂崩壊災害が多く発生しており、本工事も約23haに及び計画地において、降雨時の防災対策を如何に効率よくかつ安全に実施するかが課題であった。本稿は工事期間中に起こりうる自然災害を考慮した工法の選定と、取組みについて紹介するものである。</p>
14:00～14:10	休 息	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑫	<p>大深度地下空間での安全な作業環境の構築 —ICTツールや3D図面を活用して、フロントローディングに努める— 戸田建設㈱ 首都圏土木支店 土木工事1部工事2室 作業所長 松本 浩一郎</p> <p>水道管の更新事業として、トンネル坑内に送水管を敷設し、維持管理用の立坑施設を築造する本工事は、大深度立坑や長距離トンネル内での重量物の取扱いが主となる。3D図面を用いた危険事前検討会を実施し、ICTツールを活用して安全管理に努めた内容について報告する。</p>
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑬	<p>建設DXがもたらす新たな安全運営 —大深度ケーソン工事における建設DXを活用した安全管理について— 飛鳥建設㈱ 首都圏土木支店 芝浦ケーソン作業所 現場代理人 濱西 将之</p> <p>ニューマチックケーソン工法で施工した芝浦水再生センター導水渠立坑設置工事は、狭隘な施工ヤードで沈下掘削と躯体構築の異工種を同時に進めるため、沈下時の周知方法や教育手法など建設DXを駆使した安全管理や労務低減策を導入し、無事故で工事を竣工した。</p>
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑭	<p>日下川新規放水路(呑口側)工事の安全衛生管理活動 —狭隘で長大な放水路トンネルでの安全への取組み— 鹿島建設㈱ 四国支店 日下川新規放水路(呑口側)工事事務所 工事事務所長 藤井 広志</p> <p>当現場は放水路トンネルで幅が狭く、延長は2.5kを超える。そのため重機と人の接触災害防止が最大の課題となった。キャタ式重機とタイヤ式重機それぞれに接触防止装置や警報装置を取り入れたほか、坑内外シームレス位置検知システムを導入しドライバーが運行状況を確認できるようになり安全性と生産性の両立を実現した。</p>
15:10～15:15	閉会挨拶	副部会長 清水建設㈱ 広島支店 安全環境部 部長 森田 修
15:15～15:25	休 息	
15:25～16:25	講 話*	<p>建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望 国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室 企画専門官 木下 誠一</p> <p>労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取組み 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史</p>

8:45～ 開 場

9:00～9:10 開会挨拶 部長 戸田建設(株) コーポレート本部 安全管理統轄部 安全管理1部 担当部長 小澤 重雄

9:10～9:30 講 話 **職場における新たな化学物質規制**
(20分)

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 環境改善・ばく露対策室長 平川 秀樹

厚生労働省では、化学物質による労働災害を防止するため、令和4年5月に労働安全衛生規則等の一部を改正し、職場における新たな化学物質規制を導入することとなった。本講話では、導入された規制の内容に加え、最近のトピックスについて紹介する。

9:30～9:50 発表① **安全パトロール帳票の電子化**
(20分)

一パトロール結果を確実に“伝える”ことで危険感受性の醸成に努める。
戸田建設(株) 広島支店 安全管理部 蔵岡 巖

作業所職員・作業員へ危険な施設、危険な場所、危険な行為等を“伝える”手法として安全パトロールもその一つである。広島支店安全管理部では、最先端のICT技術を利用するのではなく、既存のICTツール・アプリ「i-Reporter」を徹底利用、応用活用して作業所職員、作業員へ直接伝えることでそれぞれの危険感受性の醸成に取り組んでいる。本稿においては「i-Reporterパトロール帳票」の活用による安全管理の取り組みについて報告する。

9:50～10:10 発表② **災害防止協力会の安全活動**
(20分)

一元請主導「ヤレ」の安全から職長会主導の「ヤロウ・ヤルゾ」の安全に!!
鉄建建設(株) 大阪支店 安全品質環境部 部長 折田 新吾

鉄建災害防止協力会と共に取り組んでいる当社の安全取り組みと協力会がリーダーシップを発揮して実施した全国各支部職長会の安全活動、また私が担当している大阪支部のマンション新築現場での元請社員と職長会の安全を念頭に置いたさまざまな活動について紹介します。

10:10～10:20 休 憩

10:20～10:40 発表③ **移動型安全道場「躑割号」による現場作業員への直接教育**
(20分)

一リアル体感によるシミズ安全人間の育成
清水建設(株) 安全環境本部 安全部 高杉 一輝

現場労働災害の下げ止まりが続く近年、原因として災害“経験”の減少・安全意識・知識の低下が考えられ、技能労働者の能力を向上させる“直接教育”が必要である。その方策として開発した「躑割号」は、危険体感教育の場を直接提供することを可能にした車両である。

10:40～11:00 発表④ **安全衛生管理における看護師の取組みについて**
(20分)

一従業員の安全・安心へのアプローチ
大高建設(株) 常務執行役員 安全部長 川添 将文

当社は富山県宇奈月温泉に本社を構え日本一深いといわれる黒部峡谷、日本有数の急流・黒部川流域を舞台に土木・建築を幅広く手掛け総合建設業として発展してきた。黒部奥山での宿泊をともなっている施工もあり、従事される方々の心身の健康維持に向け社員である看護師の取り組みについての報告。

11:00～11:20 発表⑤ **どうしたら止めれる?連鎖する労働災害からの脱却**
(20分)

一安全が習慣になるまでの取組

鹿島建設(株) 東北支店 ハロウインターナショナルスクール安比工事事務所 所長 渡部 寛
岩手県八幡平市安比高原で『ハロウインターナショナルスクール安比Japan』を2022年9月の開校を目指し、2シーズンの安比高原の大雪の中、大小11棟の同時施工と非常に厳しい施工条件もあり度重なる労働災害が発生した。『連鎖する労働災害からの脱却』をテーマに、職員・職長会・作業員が一丸となり事故防止に努める安全管理活動を報告するものである。

11:20～11:30 休 憩

11:30～11:50 発表⑥ **ニューマチック・ケーソン工事施工における追加的安全衛生対策**
(20分)

一誰もが安全かつ安心して長く働ける現場づくりへの取り組み
オリエンタル白石(株) 本社 技術本部 技術部 担当課長 堀江 正樹

危険有害業務であっても誰もが安全かつ安心して長く働ける作業になることを目的に、ニューマチック・ケーソン工法に付随する高気圧作業の従事者を対象とした、オリエンタル白石(株)での追加的安全衛生対策についての取り組みを紹介する。

11:50～12:10 発表⑦ **『とめた!』災害連鎖の波**
(20分)

一意識に訴えかけた、三位一体の安全対策(ゼネコン・協力会社事業主・職長)
石黒建設(株) 安全本部 安全環境部長 山本 真範

当社では2022年初頭、災害の多発する異例の事態となり、店社・作業所・協力会社が三位一体となるよう安全管理活動強化に取り組み災害発生抑制に努めました。その際に実施した対策、ならびに当社が従来行っている安全衛生活動についてご紹介します。

12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～13:20 (20分)	発表 ⑧	山岳トンネルでの安全管理も基本は同じ —安全管理の基本を不変と可変のハイブリッドで表現— 三井住友建設(株) 中部支店 三遠道路4号トンネル作業所 所長 中斉 剛 トンネル工事は切羽の崩壊による災害や火災事故等、甚大な災害のリスクが非常に高いが、安全管理の基本はどの工種も同じである。安全の基本的なことを大切にす手段として改良できないもの(不変的なもの)と改良できるもの(可変的なもの)に分けて報告するものである。
13:20～13:40 (20分)	発表 ⑨	既存のシステム、ソフトを有効活用した安全管理 一効率的な安全管理一 五洋建設(株) 中国支店 建築部 専門部長 橋本 渉 既存のシステム(クラウドストレージ)やソフト(PDF)を有効活用することで、場内掲示物の削減、および効率的な書類整理を実現し、結果として、効果的な安全管理と労働時間削減につながった。また4週8閉所以上も達成した。
13:40～14:00 (20分)	発表 ⑩	協調安全を用い高所作業車使用者のウェルビーイング向上 —高所作業車の上昇中の挟まれによる、重篤災害防止対策— 大和ハウス工業(株) 安全部 主任 森 朋仁 高所作業車の床が上昇中に、作業員が構造物や設備に挟まれ、重篤災害が発生している。事故対策検討を行うと、作業員の行動と心理状況の問題が見えて来た。この重篤災害の発生を防止する物理的安全対策を施した、後付け装置を開発した。機械と人の協調安全にて、重篤災害を撲滅した。
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑪	女子中高生と職長会で取組む安全 —女子校建替え 居ながら工事における安全の重要性について— (株)熊谷組 首都圏支店 東京女子学園建替計画作業所 統括所長 堀江 恵介 創業120周年を迎える都内女子中学校・高等学校の建替え工事の中で、約2年の工事期間中、探究ゼミという形態で、毎週水曜日6時間目に授業を実施し、コンクリート打設、鉄骨建方見学、塗装体験、木工事体験、VRによる墜落災害体験…と、あらゆる工種の体験を女子中高生にしてみました。たくさんの体験をしていくうちに、彼女たちは現場で一番大切な、「安全」という事にいつのまにか気づいていくようになり、職長と、共に安全パトロールを行い、安全朝礼に参加し、KY活動では、しっかり危険のポイントを絞り込み、対策を伝えるように成長しました。最終的には、彼女たち自ら、自発的に安全ポスターを製作し、全国の熊谷組の現場、また本社、支店内に掲示しております。熊谷組入社35年、作業所長となって20年たちますが、改めて「安全」の大切さを職長会と共に彼女たちから学んだ2年間となりました。
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑫	安全意識向上とコミュニケーションによる災害防止 —自主管理意識を養い、事前計画・現場確認を徹底しお互いの思いやりとコミュニケーションで無事故を達成する— 清水建設(株) 関西支店 医誠会国際総合病院新築工事建設所 工事主任 仙波 真一 「自主管理意識を養い、事前計画・現場確認を徹底し、お互いの思いやりとコミュニケーションで無事故を達成する」をスローガンとし、数多くの協力会社が関与する建設所で、全作業員一人ひとりが危険への感受性の向上につながりレベルアップを図った。
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑬	ダイバーシティ・働き方改革を意識したやさしい作業所への取組み —働く全員がwell-Beingを実感できるやさしい作業所を目指して— (株)竹中工務店 広島支店 作業所 作業所長 二宮 剛章 現在、働く人の構成は高齢化、年齢層の偏り、若年者の減少、外国人労働者の増加、女性の社会進出など目まぐるしく変化している。また建設業も働き方改革により大きく変化している。この変化の中でも建築現場の安全確保と生産性向上は不変の課題である。当作業所では、所員12名のうち半数の6名が女性で、作業員も70歳台のベテランから10歳台の初心者まで幅広く、更に外国人労働者も含め様々な文化・思考を持った人々が働いている。私は誰もが働き易く、また来たくなるような作業所を実現するため、BIMや情報管理のDXの活用や従来のアナログ手法の改善に対し、大阪大学の松村真宏教授の「仕掛字」の考え方も参考にして、様々な取組みを行っている。それにより従来の「3K」から「快適職場」へ、更にその次の「働く全員がwell-Beingを実感できるやさしい作業所」を目指している。本稿ではその「やさしい(優しい・易しい)仕掛け」の取組み事例の一部を紹介する。
15:10～15:15	閉会挨拶	(株)安藤・間 広島支店 安全環境部長 山口 誠
15:15～15:25	休 憩	
15:25～16:25	講 話	建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望 国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室 企画専門官 木下 誠一 建設業の現状や課題について、最新のデータを用いて解説するとともに、それに対する国土交通省の取組を紹介する。また、建設職人基本法に基づく基本計画の変更(令和5年6月13日閣議決定)について、その内容と安全衛生経費に関する取組を中心に説明する。
		労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取組み 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史 本年4月にスタートした第14次労働災害防止計画や、本年10月に施行の改正労働安全衛生規則等、労働災害防止に向けた厚生労働省の取組みについて説明する。

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 大和ハウス工業(株) 技術統括本部 安全部長 吉田 伸司
9:10～9:30 (20分)	発表 ①	<p>地方工務店で働く作業者の安全意識向上対策 —「心理的安全性」向上で、安全活動は「ヤレ」でやるより「ヤル」でやるう!!— (株)ブラネックス 安全衛生教育部 講師 岡本 邦夫</p> <p>地方工務店の安全パトロールに参加すると、いまだに不安全行動、不安全状態が散見され、低層住宅の現場では重大事故は起こらないという心理状態「正常性バイパス」等があります。これらを防止するために、組織の中で自分の安全等の考え方や気持ちを安心、安全に相談、発信できる状況を作り上げる方法について考察します。</p>
9:30～9:50 (20分)	発表 ②	<p>新ヒヤリハット報告を活用した安全管理活動 —更なる災害撲滅を目指して— 大和ハウス工業(株) 技術統括本部 安全部 梶清 大輔</p> <p>2021年より開始された新ヒヤリハット報告ですが、弊社は積極的に推進中であり前回大会でも新ヒヤリハット報告について発表させていただきました。今回の発表はその続きであり、収集した新ヒヤリハット報告データを現場安全活動ヘイトドットした事例を紹介させていただきます。弊社では新ヒヤリハット報告を作業員各自のスマホ等で入力していただきデータを収集しておりますが、そのデータはシステムによって分析・情報の見える化がされています。前回までは分析された情報を作業員の方が見ることはできなかったのですが、それを可能とするツールを新たに開発・リリース致しました。弊社では新ヒヤリハット報告分析(作業員用)と呼称しておりますが、このツールを現場KY活動に活用しています。作業員は作業前にこのツールにアクセスしていただき、表示された危険性・対策等を確認し、当日のKY活動ヘイトドットします。KY活動への活用は一例であり、今後様々な安全管理活動が展開予定です。</p>
9:50～10:10 (20分)	発表 ③	<p>中層木造ハイブリット構造における安全衛生管理 —木構造工事における安全衛生対策 未知なる木工事への挑戦— 清水建設(株) 東京支店 栃木営業所 工事主任 原 健太郎</p> <p>地方都市の中心市街地に位置する、銀行・生命保険業界では国内初となる、中層木造ハイブリット構造のオフィスビルの新築工事において、近隣や第三者への安全配慮を実践しながら、火気作業の削減など、木構造工法特有の数々の取り組みに挑戦した事例を紹介する。</p>
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発表 ④	<p>住宅系現場監督の働き方とキャリアセミナー実施の効果について —アンケート結果によるその考察— 全国低層住宅労務安全協議会 じゅうたく小町部会 キャリア班 根本 希美</p> <p>住宅系の建設現場で働く若手技術者が定着しづらい点に着目し、2017年から継続してアンケートやセミナー実施しています。そこから見てきた建設業界が抱える課題や「いきいきと働き続けられる住宅現場」に技術者が求めていること、コロナ禍以降の働き方の変化等をまとめました。</p>
10:40～11:00 (20分)	発表 ⑤	<p>「吊荷の下に入らない(TSH)活動」の取り組み —実効的な対策による重大労働災害の撲滅を目指して— 旭化成ホームズ(株) 施工本部 施工技術部 構造・外装グループ 磯部 政周</p> <p>重大な労働災害に繋がる吊荷落下による事故防止のため、その重点活動として躯体の建方工事を中心に「吊荷の下に入らない(TSH)活動」を提案し推進しました。現場の実態調査に基づいた対策の検討と活動の普及、他の作業への展開等の継続的な取り組みについて報告します。</p>
11:00～11:20 (20分)	発表 ⑥	<p>労災管理システム —施工現場労働災害報告の一元管理と情報データのデジタル化— 積水ハウス(株) 施工本部 施工戦略部 飯田 広子</p> <p>安全衛生管理体制の一環として、労働災害の情報を一元的に管理するシステム開発に取り組んだ。災害報告、関係書類、被災者復帰追跡を一元的に管理し災害情報のデータベースの自動作成を行う。これにより現状分析や全国への情報共有が迅速に行われるようになった。</p>
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	講 話	<p>広島県の建設業における労働災害の現状 厚生労働省 広島労働局 労働基準部 健康安全課長 中村 貴紀</p> <p>昨年の広島県内の建設業における労働災害による死傷者は、統計を取り始めて最少の数値でした(新型コロナウイルス感染症り患による死傷者を除く)。一方、死亡者は対前年比較で大幅に増加しました。県内の労働災害の現状とともに広島労働局が実施した緊急対策等について、紹介します。</p>
11:50～12:10 (20分)	発表 ⑦	<p>パトロールを安全教育の場とする真心の活動 —新たな時代に即応した安全衛生指導の見える化— 山梨県木造家屋等建築工事安全対策協議会 ブルーキャップス第11期隊 隊長 井上 昇</p> <p>平成12年4月にパトロール隊「ブルーキャップス」は、ブルーのヘルメットと揃いの制服により誕生した。安全衛生活動を受動的かつ効果的に行うには、権限ではなく意思疎通がすべてに優先するとしたスピリッツにより、20年以上の歳月にわたり活動を地道に推し進めてきた。環境に即応する進化としてパトロール活動における施工側に「見える化」を図ること。工事に関係する資格や保護具の説明に加え点検項目のポイント等、これまでのノウハウを生かし「伝えにくく伝わりにくい」から「伝えやすく伝わりやすい」に変えるための映像づくりと情報発信。現場パトロールを通じ「共に考える」から生まれる信頼関係の構築が、未来の安全行動に結びつく「安全は働く者の命を懸けた活動である」という思いで活動するブルーキャップス隊員の取り組みについて紹介する。</p>

12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～13:20 (20分)	発表 ⑧	安全な作業環境を常に維持するために 一人と現場を守り抜くために一 <small>(株)ダイサン 取締役 監査等委員 和田 誠一</small> <small>(株)ダイサン 執行役員 安全管理部 部長 安西 清次</small>
		<p>現在の住宅用足場は、業界全体で見た場合、施工品質のバラつきが大きい。また、施工後の維持管理にも問題があり、作業の都合上とは言い、足場部材を取り外した後、復旧せず放置しているケースが散見される。元請様及び足場会社の安全に対する考え方や取組み姿勢で住宅用足場の施工品質に大きな差がある。業界としての問題としては、足場計画図の設計不備、取り外した足場の材料の未復旧、工事監督様が常駐出来ないことであると考え、①CADによる安全な足場計画図の作成と現場掲示 ②足場の組立後・悪天候一部解体・変更後の足場点検 ③日々の作業前足場点検とカメラによる作業者の点検、以上3点を標準化することで住宅用足場の施工品質安定に繋がると考える。</p>
13:20～13:40 (20分)	発表 ⑨	法改正後の墜落制止用器具(安全帯)の現状 一ロック機能付き巻取り式ランヤードの普及活動について一 <small>大阪住宅安全衛生協議会 現場災害防止部会 部会長 鶴飼 浩行</small>
		<p>大阪住宅安全衛生協議会の会員各社の協力により、現状の墜落制止用器具(フルハーネス型安全帯及びロック機能付き巻取り式ランヤード・胴ベルト安全帯)について、統計的に分析し、現在の状況の発表と今後の墜落制止用器具(特にロック機能付き巻取り式ランヤード)の普及活動について。</p>
13:40～14:00 (20分)	発表 ⑩	フルハーネス型墜落制止器具の普及の取り組みについて <small>日本安全帯研究会 井上 均</small>
		<p>2019年の関係法令等改正の施行により、労働者に墜落制止用器具を使用させる場合は“フルハーネス型の使用を原則とする”と示されているが、胴ベルト型も多く使用されているのが実情である。日本安全帯研究会が取り組むフルハーネス型普及の一環として、フルハーネス型の有効性と課題への対応を説明する。</p>
10:10～10:20	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑪	DX化の普及による低層住宅の現場環境について 一高齢化・人手不足の課題とDX化による業務効率化や若手人材の育成一 <small>全国低層住宅労務安全協議会 環境安全対策部会 部会員 青木 大介</small> <small>(タマホーム(株))</small>
		<p>近年、建設業界にて深刻化する人手不足の問題は、若手の現場技術職の育成にも影響が出ており、労働者が安心できる現場環境を整える事に課題を感じております。今回はDX化を活用した現場業務の効率化と人材育成について事例と内容を説明致します。</p>
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑫	低層現場における遠隔現場の安全管理 一大小規模2つのケースを通して価値を検証する一 <small>大和ハウス工業(株) 本社技術統括本部 建設DX推進部 住宅施工グループ 主任 馬場 健太郎</small>
		<p>現在、私たちは、少子高齢化や就業者の建設業離れの問題を抱え、加えてコロナ禍を経て、新しい働き方を模索する社会的背景に直面している。さらに低層住宅(戸建住宅)部門の非専任技術者現場では、工事管理者が一名で複数の現場を兼任しており、効率的な業務が求められ、限りある時間内で安全管理を行わなければならない課題がある。近年急速なコンピューター、インターネット、ソフトウェアの進歩により、日常生活や働き方も画期的に変化してきている。そこでこの課題を解決する為、デジタルデバイスやアプリを活用し、遠隔で現場の安全確認を行う可能性について検証を行った。</p>
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑬	「安全(衛生)管理士」による支援をご活用ください <small>建設業労働災害防止協会 技術管理部 安全管理士(広島県支部駐在) 門川 真彦</small>
		<p>労働災害防止団体に基づき国の認可を受けて設立された建設業労働災害防止協会には、その認可条件の一つとして必置とされている「安全(衛生)管理士」が在籍しています。各地に駐在している「安全(衛生)管理士」は、事業場における安全衛生管理活動の支援(バックアップ)軍団です。本論文は、全国大会を機に広く管理士活動を知っていただき、積極的に活用していただくことを大きな目的の一つとしています。</p>
15:10～15:15	閉会挨拶	<small>副部会長 (株)熊谷組 中四国支店 安全品質環境部 部長 市野 裕一</small>
15:15～15:25	休 憩	
15:25～16:25	講 話*	建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望 <small>国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室 企画専門官 木下 誠一</small> 労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取り組み <small>厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史</small>

※15時25分からの講話は安全衛生教育部会会場(フェニックスホール)で行います。

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 清水建設(株) 安全環境本部 顧問 伊藤 勝啓
9:10～9:30 (20分)	発表 ①	クラウドカメラの活用で、死角を無くし、管理密度を充実する安全活動 —死角を無くせ!未熟をバックアップ!三現主義をフォロー— (株)竹中工務店 生産統括部 技術グループ グループ長 貞永 誠
		近年、建設就労者の激減と高齢化により建築現場における安全管理の密度や質が低下傾向になっていることは建設業界全体、更に社会問題です。しかし労働者の命を守ることに言い訳や隙は許されません。そのような中、本稿でご報告する取組みは、建築現場の安全管理密度を確保・充実させるために、クラウドカメラSafeシリーズを活用し、場内の死角を無くし、経験未熟をバックアップし、三現主義をフォローして成果を上げている活動です。今後も更に本活用の拡大、改善、推進し安全レベルの向上を指向していきます。
9:30～9:50 (20分)	発表 ②	DX/ICTの活用による施工の安全性の向上 —3次元施工シミュレーション動画・遠隔参加型VRシステムの活用によるリスクの洗い出し— 清水建設(株) 関西支店 新名神梶原トンネル建設所 工事主任 長塚 真美
		名神高速道路直上を横断する仮橋架設工事について、3次元施工シミュレーション動画や遠隔参加型VRシステム等の最新のICT技術を活用した施工検討により安全の高度化に取り組んだ、新名神高速道路梶原トンネル工事での取り組みについて紹介する。
9:50～10:10 (20分)	発表 ③	建設業DXへの挑戦 —持続可能な企業に向けて— 安田産業(株) 代表取締役社長 安田 猛
		昨今、デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みが全世界に進んでいる。今後人手不足が予想される中、少ない人員で業務を効率的に行うためにはDXに取り組むことが必須となると考え、2年前から業務システムの開発に着手している。世の中にさまざまな業務アプリケーションが増えてきているが業務を効率的に行うためには、①ひとつのプラットフォームで、②複数の業務を連結して無駄のない運用ができること、③簡単に扱えること、が大切と考えてシステム開発を行っている。書類作成業務の大幅時短などの効果を発表する。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発表 ④	グループウェアを活用したCOHSMSへの取り組み —DX化で全員参加型の安全衛生マネジメントシステムへ— 旭テック(株) 安全衛生・品質管理室 室長 伊藤 純
		社員一丸となりCOHSMSのマネジメントシステムに取り組むために行ったDX化の効果。
10:40～11:00 (20分)	発表 ⑤	ICT活用による作業効率化・安全管理能力向上への挑戦 —積極的なICT活用で作業効率向上と情報伝達能力の拡張による働き方改革への取り組み— (株)大林組 四国支店 建築工事部 副部長 玉井 真吾
		「絶対に事故は起こさない」という強い意志の下、安全最優先で進めるために、日々の現場状況をタイムリーに情報共有することが必要と考え、さまざまなICTツールを活用することにより、効率よく効果的な管理を行うことができた。現場全体の安全意識の高揚を図りながら、災害防止のために各々日々やるべきことを確実に実施することを徹底し、無災害に繋がった。
11:00～11:20 (20分)	発表 ⑥	現場安全業務に関するICTの取組 —AIとIoTを利用した作業員体調管理システムの導入による安全管理— 五洋建設(株) 安全品質環境本部 安全品質環境部 担当課長 中島 大輔
		作業員が装着したシャツに生体センサを取付け、心拍・温度・加速度などの生体情報を収集し、生体情報及び作業場の気象情報などから、独自のアルゴリズムでデータ解析し、暑熱作業リスク・体調の変化・転倒、転落などのリスク情報を離れた場所からリアルタイムで確認できるシステムを導入・運用した。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～11:50 (20分)	発表 ⑦	リニューアル工事におけるICTツール等を駆使した施工計画と安全管理 —シャフト内工事のブラックボックス化解消・施工計画でのBIMの徹底活用— 鹿島建設(株) 関西支店 フェニックスタワー工事事務所 設備担当 蟻田 洋輝
		竣工後28年を迎えた建物の居ながらリニューアル工事において、ICT等を駆使した施工計画と安全管理について発表します。エレベーターのシャフト内工事は、閉ざされた空間でエレベーター専門会社しか入ることが出来ないことにより、建築現場では長年「ブラックボックス化」が当たり前となってきましたが、通信環境整備とWebカメラ・スピーカーマイク設置により工事状況を遠隔で確認及び作業員と会話ができるようになりました。また、既存建物をBIM化して施工計画を行うことにより、足場・揚重・作業姿勢による注意事項を示し安全管理ポイントの可視化が実現できました。2025年度以降は新築工事の市場は次第に縮小し、新築工事とリニューアル工事の比率が現状よりリニューアル工事が増加することが予想されています。本論文が今後のリニューアル工事における災害防止に繋がれば幸いです。

11:50～12:10 (20分)	発表 ⑧	BIMを活用した『デジタル安全パトロール』の広域化 ドローンの有用性を活かしフロントローディングで危険の芽を見つけ出し、安全な作業環境を！ 戸田建設(株) 関東支店 建築工事業部 工事長 工藤 祐介 戸田建設(株) 関東支店 建築工事業部 フロントローディング推進課 課長代理 小林 宗悟
ドローンの有用性を探り、デジタル安全パトロールの発展性を報告する。ドローンを活用し、人が介在し難い場所でのBIM化が可能となり、デジタル安全パトロールがさらに広域化。仮想空間内で危険箇所を、事前に対策を検討できることが、一番大きな効果。		
12:10～13:00	昼 休	DVD上映
13:00～13:20 (20分)	発表 ⑨	ICTを活用した次世代の安全管理手法 (株)奥村組 東日本支社 リニューアル技術部 工事主任 加藤 清孝
現場全体を管理する責任のある立場となったので、無災害で竣工を迎えたいと考えた。そのため、昨今の災害事例の要因を分析しなおし、ICTツールを活用した次世代の安全管理手法を試行錯誤しながらやり遂げ、無災害で竣工を迎えた。		
13:20～13:40 (20分)	発表 ⑩	働き方改革を見据えたスマート生産現場への挑戦 一建築工事における生産性向上と安全性向上の両立一 鹿島建設(株) 中国支店 岡山大鶴薬品 総合棟・倉庫棟新築工事事務所 工事課長 井川 武之
2024年4月から建設業に適用される時間外労働の上限規制に対して、業界が一丸となって取り組んでいる働き方改革の一環として、デジタル技術を中心とした多種多様な生産性向上対策と、それらの安全性との両立について、支店管内の代表的な建築現場での事例を紹介するものである。		
13:40～14:00 (20分)	発表 ⑪	土運搬における安全対策 一クラウド型運行支援システムを用いた、より有効な土運搬の安全管理について一 (株)大林組 四国支店 明神山トンネル工事事務所 芹ヶ野 明日香
当工事で発生した掘削土はトラックにして1日、250台となり、交通事故無災害を達成するには従来の安全管理に加えてそれを高いレベルでスキームが必要であった。クラウドを使用した本支援システムはトラックの土運搬の動向を監視するだけでなく、サーバー上の膨大なデータを安全教育等で「見える化」全運転手に繰り返し共有することにより、高い安全意識を醸成した。また運転手の表彰制度を導入し、高い安全意識を継続させることができた。		
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑫	広大な敷地におけるICT技術・デジタル技術を活用した安全管理の取組 一災害リスクの低減を目指して一 清水建設(株) 名古屋支店 名古屋岩塚物流センター建設所 建設所長 伊藤 茂郎
広大な敷地の建築現場におけるICT技術・デジタル技術を活用した安全管理の取組を災害リスクの排除・低減の観点で紹介した。取組・紹介事例は、自分自身の位置を確認するシステム、複数拠点の作業間連絡調整の工夫、ドローン画像の活用、杭工事リモート管理、RTK測位による杭芯確認、ICT建機による根切掘削工事である。		
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑬	デジタルツールを利用した作業所の安全衛生管理活動 大成建設(株) 関東支店 南摩ダム本体建設工事作業所 安全次長 川島 徳明
本論文は「南摩ダム本体建設工事」における「デジタルツールを利用した作業所の安全衛生管理活動」について、その活動の事例を報告するものです。ダム現場ということで管理エリアが通常の現場より広く、また、大規模土工事はもとより、コンクリート構造物工、トンネル工、橋梁工、法面工及びコンクリート製造工と職種も多岐にわたっている。それに加え実質工期は3年6か月と、ダム工事としては短期間の工期設定となっている。このような状況下で効率よく現場を管理するために、LINE Works、Safieカメラ、フィールドボード等のデジタルツールを活用し、限られた人材で工事の生産性や安全管理の向上につなげる試みを実施しているため、その事例を報告するものです。		
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑭	創意・工夫・改善による安全衛生管理 戸田建設(株) 九州支店 建築工事業部工事2室 主任 鹿毛 肇嗣
『常に予測した安全対策により、リスク“ゼロ”の作業環境つくる』ため、劇場ホール内の馬蹄形状といった特殊形状に対応するBIMを活用した仮設計画、及び実施設計段階、施工計画段階における安全のフロントローディングの実施・成果状況報告。		
15:10～15:15	閉会挨拶	副部会長 大成建設(株) 安全本部 安全部 安全指導室 専任部長代理 浅野 健一郎
15:15～15:25	休 憩	
15:25～16:25	講 話*	建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望 国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室 企画専門官 木下 誠一 労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取り組み 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史

※15時25分からの講話は安全衛生教育部会会場(フェニックスホール)で行います。

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会長 (株)熊谷組 安全品質環境本部 安全推進部 担当部長 八木 幹夫
9:10～9:30 (20分)	発表 ①	<p>従業員33名の会社が取り組む安全マネジメントシステム事例 —COHSMS 導入経緯から運用まで～(株)ホーク6年の軌跡～ (株)ホーク 工務部 課長 横山 文彦</p> <p>設立以来、補修・補強工事専門会社として下請工事を中心に活動してきた当社。元請工事挑戦後、順調に実績を伸ばす一方、従来の安全管理体制が機能不全に。そんな当社におけるCOHSMS導入経緯から認定取得そして現在までを紹介します。</p>
9:30～9:50 (20分)	発表 ②	<p>コスモス認定による進化と課題 西松建設(株) 安全部長 石堂 基</p> <p>コスモス認定を受けて10年超を経ての進化と課題について、試行錯誤を重ねた過去の経験を交えて発表させていただきます。当社のリスクアセスメントにおいて、リスク低減策が教育訓練や保護員の対策について偏っていたので、そこに工学的対策を加えるのに苦労した経緯をお伝えします。</p>
9:50～10:10 (20分)	発表 ③	<p>最適な安全衛生システムを目指して —愛亀 COHSMS— (株)愛亀 工務部 山本 悠介</p> <p>経営理念として『くじけず、おこらず』を掲げ、システムを導入・運用にあたっての従業員の負担軽減、大規模工事だけでなく小規模工事を含めてCOHSMSを運用しての安全衛生活動など、中小企業でのCOHSMSの「最適化」「運用」「教育」「課題」について記す。</p>
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発表 ④	<p>コスモス導入による店社安全衛生管理水準の向上 —IT 技術を活用した安全衛生管理 DX の推進— 小柳建設(株) 法務担当 保科 正敏</p> <p>本論文は、「安全衛生管理の標準化」、「人員不足」といった店社安全部門が抱える課題に対し、①COHSMSの導入、②IT活用により解決を図った結果、「労働災害削減」に繋げることができた実例を、具体的な削減効果を交えて、説明したものである。</p>
10:40～11:00 (20分)	発表 ⑤	<p>「鉄道安全マネジメントシステム」と一体化させたコスモス導入 広成建設(株) 本社 施工本部 安全推進室長 高山 宜久</p> <p>当社ではコスモス導入にあたり、従前から鉄道関係工事で運用していた「鉄道安全マネジメントシステム」をベースとしながらもコスモスに一体化させ、新たに衛生分野をマネジメント対象としながら、両者のガイドラインを満足する安全衛生活動を全社展開することとした。</p>
11:00～11:20 (20分)	発表 ⑥	<p>キタノコスモスとコスモス認定 —地域密着型安全衛生マネジメントシステムの構築と実践— 北野建設(株) 安全管理本部 安全管理室 部長 小熊 健一</p> <p>北野建設株式会社の安全衛生マネジメントシステム(キタノコスモス)は、令和4年11月24日にコスモス認定を取得いたしました。従前の安全衛生管理活動をリニューアルし、「キタノコスモス」としてコスモス認定を目指した動機、構築の基本的な考え方、運用による効果、特徴的な活動とシステム上の位置づけ等を中心に紹介します。</p>
11:20～11:25	閉会挨拶	建設業労働災害防止協会 事業部長 小笠原 清美
12:30～	コスモスレベルアップミーティング(広島市文化交流会館 銀河)	※参加は事前に登録されたコスモス認定企業に限ります。

12:50～13:00 開会挨拶

部会長 東急建設(株) 副社長 諏訪 嘉彦

13:00～13:20 発表 ① 新ヒヤリハット報告を活用した新たな安全衛生のDX化について
(20分)

—新ヒヤリハット報告推進協議会の取組み—

新ヒヤリハット報告推進協議会 戸田建設(株) ICT統括部 DX推進室 主任 宮崎 孝一
新ヒヤリハット報告推進協議会 大和ハウス工業(株) 本社技術統括本部 安全部 主任 嶋田 味穂

建災防より発表され「新ヒヤリハット報告」の取組みを行っております企業有志にて、新ヒヤリハット報告推進協議会を実施しています。近年増加傾向にある労働災害を減少させるために、ヒヤリハットを災害に至らずに力カバリーした成功体験と捉え、背後要因を探りレジリエンス能力を高めていくために各社が取り組んでいる、具体的な対策やデジタル化事例を共有しています。安全分野は協調領域であると捉え、各社の新ヒヤリハット報告に関する取組みを各社共有し、新たな安全衛生活動に活かすための取組みについて発表致します。

13:20～13:40 発表 ② 「建災防方式 新ヒヤリハット報告」のDX化、無料提供による普及促進の取組
(20分)

—現場が主役で活用でき、災害防止につながるWebアプリを目指して—
東急ジオックス(株) 建設業メンタルヘルス対策事業化特命PT サブリーダー 庄子 貴章
東急ジオックス(株) 建設事業部 施工管理課 課長代理 佐藤 邦昭

第56回、第58回で発表した取組みを経て、第59回ではDX化推進における普及と定着に向けた課題を提起した。今回、現場で使えて、災害防止につながるWebアプリを目指して、試行実施を進めている取組みを報告する。

13:40～14:00 発表 ③ 新ヒヤリハット報告がもたらすレジリエンス能力の効果
(20分)

—安全衛生DXにつなげる山梨県支部による更なる取組み—

建設業労働災害防止協会 山梨県支部 部長 山本 憲一

山梨県支部では、新ヒヤリハット報告を活用し、支部会員に一斉実施を促すとともに結果を分析した結果、レジリエンス能力におけるポテンシャルの向上が必要不可欠であると考察した。本報告がもたらす効果は、データの蓄積とともにヒューマンエラーに起因する労働災害について、発生を回避させるための施策に主眼を置く必要があると考え、事前に回避した行動を「グッドリカバリー」と位置づけ健康KY活動にドッキングさせるとし、会員企業に対し周知しているところである。また、同報告の生産性向上の観点から、マニュアルによるデータフォームの入力等をデジタルデバイスを活用することとし試行をはじめた。なお、これら取組みの相乗効果としては、山梨県の入札参加資格審査における主観的に本報告が評価されたことにより、取組みの継続と効果が期待される。

14:00～14:10 休 憩

14:10～14:30 発表 ④ YAHAGI 式 新・ヒヤリハット活用術
(20分)

—「他人事」から「自分事」へ 真の安全第一を目指して—

矢作建設工業(株) 安全環境部長 紀伊 保

同種災害防止を目的に、災害事例研究やヒヤリハット活動が行われているが、実際に作業をする人々には「他人事」として受け取られている。本論文では、現場で働く一人ひとりが「自分事」として受けとめ、高い危険感受性と責任感を持ったチームになる取組みを紹介する。

14:30～14:50 発表 ⑤ 下請け『主動』の安全衛生管理体制の構築に向けて
(20分)

—結果の見える安全衛生そして健康活動—

(株)松本組 常務取締役 坪谷 広之

令和5年度は労働安全衛生の転換期であり、その中で「結果が見える仕組みづくり」を無記名ストレスチェック新ヒヤリハットのヒヤリングシートを活用し、安全衛生組織を構築しました。それによる安全施工サイクルの効果的運用を提案しました。

14:50～15:10 発表 ⑥ 建設現場における労働災害防止に向けて
(20分)

—「見える化」「ヒヤリハット報告」による安全意識向上—

東洋建設(株) 大阪本店 建築部 工事課長 樋口 雅一

労働災害の殆どが「ヒューマンエラー」に起因したものであるという考えに基づき、ヒューマンエラーが起こる要因・原因を理解し、12あると言われている発生原因の内、過去の経験を踏まえて「慣れ」「意識の低下」を重点管理項目とし、ヒューマンエラー防止の為に実践した安全衛生管理活動の内容と成果について、紹介します。

15:10～15:15 閉会挨拶

部会長 東急建設(株) 副社長 諏訪 嘉彦

15:15～15:25 休 憩

15:25～16:25 講 話* 建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望

国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室 企画専門官 木下 誠一

労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取組み

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史

第60回 全国建設業労働災害防止大会 in 広島

安全衛生保護具・測定機器・安全標識等

展示会



日時・場所 10月5日(木) 10時30分 広島県立総合体育館
10月6日(金) 8時30分 広島国際会議場



主催 建設業労働災害防止協進会

出展企業	主な取扱い品目	出展企業	主な取扱い品目
アサヒ産業株式会社	機材用搬器「ミニリフト」、次世代足場&支保工「ミニニューム」、ポリエステル製養生網材「マルチGRID」	株式会社銘板	デジタル朝礼台、安全掲示板、AIプロジェクションアーチ、AI安全チェックシステム
アゼアス株式会社	化学防護服、集じん・排気装置 等	株式会社タカミヤ	次世代足場 Iqシステム
株式会社アドバンス	経口補水液が作れるタブレット「O.R.S」	株式会社谷沢製作所	保護帽、墜落制止用器具 等
アトム株式会社	振動軽減手袋、耐切削手袋、緩衝手袋	株式会社つくし工房	重機接触防止装置パノラマF・VR・LEDオートライト・現場カシリーズ
株式会社エレメント・プランニング	安全衛生小冊子、ポスター、シール、テキスト	株式会社TOWA	高所作業安全用品
大塚製薬株式会社	ボカリスエット、イオンウォーター、ポディメントドリンク 他	株式会社ナカオ	アルミ製 移動式室内足場、可搬式作業台、台車 等
株式会社ガステック	検知管式気体測定器、各種ガス警報計	株式会社日本コンサルタントグループ	協会向け クラウド型 安全衛生動画学習システム、オリジナル安全衛生動画の製作
株式会社キッズウェイ	CCUSオールインワン導入機器 建レコキット、顔認証システム FACEma【フェイスマ】	株式会社日本スピードショア	土砂遮断装置「スピードガード」、水圧式スプリング内蔵四方張り土留「マンホール土留」
キョウワ株式会社	建設用仮設資材、腹起し支柱システム、黒採光防音シート、注意喚起資材（イエローネット）等	長谷川工業株式会社	はしご、脚立、足場台、作業台 等
株式会社建設安全研究会	安全教育用映像コンテンツ	株式会社ハタヤリミテッド	コードリール、照明機器等
興研株式会社	防じんマスク、電動ファン付き呼吸用保護具、防毒マスク 他	株式会社ビカ コーポレイション	アルミ仮設機材、可搬式作業台、親綱支柱、台車、昇降作業台等
光明理化学工業株式会社	北川式ガス検知管及び、産業用ガス検知警報器	藤井電工株式会社	墜落制止用器具及び墜落防止器具
株式会社三共	パネル式ユニットシステム用り足場 TOBI SLIDE（トビスライド）	株式会社ブロップ	墜落制止用器具、ライフジャケット「エアバック」、暑さ対策製品
サンコー株式会社	墜落制止用器具（フルハーネス型、胴ベルト型、関連器具）、墜落防止器具（セイフティブロック）	みぞた巧芸株式会社	旗・幕・のぼり、腕章・胸章、ポスター・ステッカー・シート、表彰状・記念品
シェルフィー株式会社	安全書類電子化サービス「Greenfile.work」建設DX、時間外労働の削減、作業効率化	ミドリ安全株式会社	墜落制止用器具、安全靴、ユニフォーム、ヘルメット、作業手袋、熱中対策商品等
ジー・オー・ビー株式会社	アルミ台車、アルミ製段差解消スロープ、移動式室内足場 他	株式会社メルシー	フットケア機器（健康管理機器）
株式会社重松製作所	防じん・防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具等	山本光学株式会社	保護めがね・ゴーグル、電動ファン付き呼吸用保護具、使い捨て式防じんマスク
株式会社シモン	安全靴・プロスニーカー、保護手袋	ユニット株式会社	安全用品、標識
新コスモス電機株式会社	ガス検知器	株式会社理研オプテック	保護めがね、ゴーグル、遮光めがね、防災面
スリーエム ジャパン株式会社	墜落防止用製品（フルハーネス・ランヤード・アンカーなど）	理研計器株式会社	ポータブルガス検知器、酸素濃度計、高圧下用酸素濃度計、VOCモニターなど
セーフィー株式会社	クラウド録画サービス ウェアラブルカメラSafe Pocket 2 Plus（セーフィーポケットツープラス）、LTE搭載クラウド型防犯カメラSafe Go（セーフィーゴー）		

VR出展企業	主な取扱い品目
株式会社積木製作	VRによる安全教育
ミドリ安全株式会社	VR安全教育労働災害体感機、ワークアシストウェア
出展団体	主な取扱い品目
(一社) 仮設工業会	テレビ・仮設機材・上映ムービー・パネル
(一社) 全国建設業労働災害互助会	補償制度事業及び労働福祉事業
(一社) 日本ガス協会	ガス管損傷事故防止チェックシート、ガス管照会窓口検索サイト周知チラシ



現地での受付方法のご案内

初日受付

広島県立総合体育館
(B1F エントランスホール)
10時30分～

2日目受付

広島国際会議場
(B1F 会議運営事務室ロビー)
8時30分～

STEP1

初日参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出してください。

2日目参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出してください。



初日



2日目

※名刺をお持ちでない場合には、参加券にお名前等をご記入いただき、提出してください。

STEP2

参加証を受け取ってください。来場中は参加証を首から下げてください。
(参加証は初日、2日目で異なります。)



STEP3

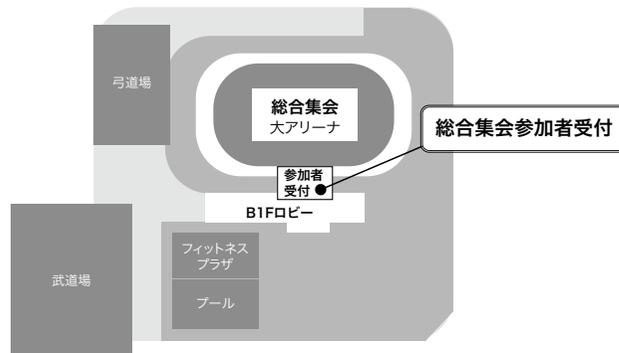
資料は資料引換券を会場の「資料引換所」に提出し、受け取ってください。
(資料は初日、2日目ともに共通です。)



(※イラストはイメージです。)

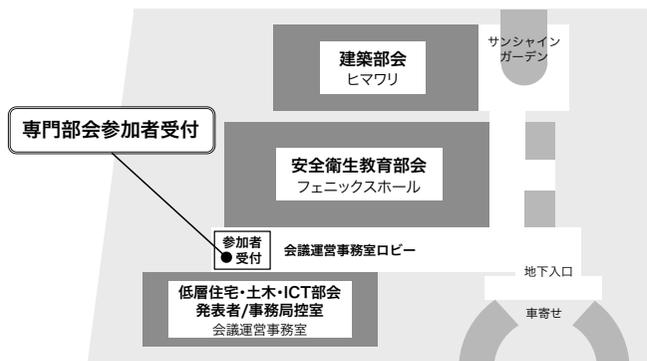
初日受付場所

広島県立総合体育館
B1F
エントランスホール



2日目受付場所

広島国際会議場
B1F
会議運営事務室
前ロビー



オンライン参加方法

現地に参加される方へ

大会当日にお渡しする資料にて「ユーザー名」「パスワード」をご案内しますので、オンライン参加の申込みは不要です。

① 参加券の購入 (建災防支部または本部)



② 建災防ホームページ上のオンライン参加申込みページから、メールアドレスを登録する。



③ 登録したメールアドレスへ自動で申込みフォームが送信される。
申込みフォームに参加者情報を入力する。

※入力の際は必ず参加券をお手元にご用意ください。参加券に記載の4桁の番号が必要です。



④ 申込受付完了で、オンライン視聴用ユーザー名とパスワードが記載されたメールが自動配信され、登録が完了となる。



参加券申し込みのご案内

申込方法

最寄りの都道府県支部または本部に詳細をご確認のうえ、以下の「参加券申込書」に必要事項をご記入いただき、参加券代を添えてお申し込みください。

参加券申込書は建災防本部ホームページよりダウンロードできます。(https://www.kensaibou.or.jp)

参加券 (現地参加・オンライン参加共通)

8,500円(税込) ※参加券は初日参加券・2日目参加券・資料引換券がセットになっております。

参加券申込書

参加費合計：金	円	名分
事業場名：	※どちらかを○で開んでください 会員 ・ 非会員	
所在地：		
所属部署：		
代表者氏名：	TEL：	

令和5年 月 日

建設業労働災害防止協会

支部・本部 御中

やっぱりこれだ
溶接で人気の
1005シリーズ

溶接作業に適した3つの特長

- 1 溶接面と好相性のデザイン
- 2 負担の少ない軽量設計
- 3 オゾン臭の除去にKBCフィルタ併用可能



指定防護係数10

溶接のベーシックモデル
防じんマスク

1005RR



指定防護係数14

溶接で多くの実績がある
電動ファン付き呼吸用保護具

BL-1005



指定防護係数33 **NEW**

溶接向け電動ファン付き
呼吸用保護具の上位モデル

BL-7005

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に
興研株式会社 〒102-8459 東京都千代田区四番町7
TEL.03-5276-1911 (大代表)

石綿対策をトータルサポート!

「石綿処理機材マニュアル」をご用意しています。

集じん・排気装置 **AT-2000 Pro**

アルミ製ボディでより軽量に!

溶接仕上げによる改良モデル!

デュポンTMタイベック[®] ソフトウェアⅢ型

JIS T 8115 : 2015
タイプ 5 適合
浮遊固体粉じん
防護用密閉服

※フィルタは別売りです

デュポンTM、タイベック[®]は米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。

アゼアス株式会社 www.azearth.co.jp

本社 〒111-8623 東京都台東区蔵前 4-13-7
TEL. 03-3861-3537 / FAX. 03-3861-2485

挑戦的な真価ある進化
Made in JAPAN プロスニーカー

8900 Series

8911 ブラック

規格: JSA A種 認定品 人工皮革製 (付加的性能: カタと膝の衝撃エネルギー吸収性、耐油性)
甲巻: 人工皮革+ダブルラッセルメッシュ | 先芯: ワイドACM樹脂先芯 | 鞋底: 発泡ポリウレタン2層底
標準重量 (26.0cm/両足): 720g

Simon CORPORATION
株式会社 シモン

本社 〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町 3-3-1
https://www.simon.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ先
弊社HPのお問い合わせフォームにて承っております。
下記URL、またはQRコードよりアクセスしてください。
https://www.simon.co.jp/contact

※通信料はお客様のご負担となります。




YK YAMAMOTO

安全をつくる 快適でささえる
Comfortable safety

1911年の創業以来、100年以上にわたり「YAMAMOTO」に受け継がれてきたのは、働く人々の「安全と健康」を護るという使命。
「安全」は「快適」という次のステージへ。地道で小さな一歩を積み重ねることが、次の100年への近道。
快適創造企業の実現を目指して、YAMAMOTOは歩み続けます。

山本光学株式会社
セフティ&レーザー・オプト事業部
https://www.yamamoto-kogaku.co.jp/safety/
E-mail: yk.yamamoto@contact.yamamoto-kogaku.co.jp
本社 / 06-6783-1101 東京支店 / 03-3868-5503

110th Anniversary
おかげさまで山本光学は
2021年11月で創業110年




※1

世界最小



GOOD DESIGN AWARD 2022

※1 ロック装置付き巻取器 2021年9月現在 当社調べ

国内最軽量 ※2

シングル
約700g



ダブル
約1,280g



フルハーネス型 / 胴ベルト型 兼用
巻取式 タイプ1 ランヤード **REELOCK mini S**

※2 ロック装置付き巻取式 タイプ1 ランヤード 2021年9月現在 当社調べ



Special site

サンコー株式会社 <http://www.sanko-titan.co.jp> 本社・本社工場 〒532-0035 大阪府大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06-6394-3541

シゲマツ
創業1917年

革新的な視界を確保したゴーグル

LX-91

保護めがね(ゴーグル形)

適合規格
JIS T 8147:2016
EN 166:2001 クラス1

フレーム

視力矯正めがねと併用可



上下・左右が見渡せる大きなアイピース



X型のフレームが柔軟に動くので
色々な顔の形状にフィット



視力矯正めがねのテンプル(つる)
を通すスペースを確保

株式会社 重松製作所 **SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.** 本社 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1
TEL 03(6903)7525(代表)
www.sts-japan.com



Evo.123

軽さ。コンパクトさ。涼しさ。

劇的進化

新内装
[エアライトS]
サポートブロック
メカニズム搭載



詳しい製品情報は当社HP特設サイトへ 

株式会社 谷沢製作所 〒104-0041 東京都中央区新富2-15-5 **RBM築地ビル6F**
TEL : 03-3552-5581 FAX : 03-3552-5576 E-mail : eigy@tanizawa.co.jp www.tanizawa.co.jp

現場視察でも履ける！ 先芯入り紳士靴 BS1310

- JSAA 認定 A 種
- 鋼製先芯搭載
- 優れたクッション性
- 超耐滑底



new




ミドリ安全株式会社 〒150-8455 東京都渋谷区広尾5-4-3 電話:03-3442-8293 安全靴サイト:www.midori-fw.jp 通販サイト:midori-anzen.com